施策評価シート（ 令和4　年度の振り返り、総括）

作成日	令和5 年　04月　07日

施策 No.	1	施策名	確かな学力の育成
主管課名	学校教育課	電話番号	0285-81-9052
関係課名	学校教育課、科学教育センター、デジタル戦略課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市内の義務教育課程の児童生徒						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
児童生徒数	人	6,638	6,562	6,476			

施策の目標	すべての小中学校で、電子黒板やタブレット、デジタル教科書等のICT機器を効果的に活用した授業を展開し、学力の向上を図ります。 また、指導する教員は、校務支援システムの活用等により働き方改革を進めることで、子どもに向き合う時間を確保し、教育の質を高めます。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・児童生徒の学習の定着度をはかるため、とちぎっ子学習状況調査の教科合計平均正答率の県と真岡市との比較差の数値を使用する。 ・小中学校におけるICT機器の活用状況をはかるため、「真岡市ICT教育基本構想」に基づくICT機器導入率等を使用する。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
小5とちぎっ子学習状況調査における3教科合計平均正答率の県との差（国語、算数、理科）	目標値	ポイント	+0.2	+0.3	+0.4	+0.5	+0.6	+0.7	+0.7
	実績値			実施無	+1.2	+1.6			
中2とちぎっ子学習状況調査における5教科合計平均正答率の県との差（国語、社会、理科、数学、英語）	目標値	ポイント	+0.8	+0.9	+1.0	+1.1	+1.2	+1.3	+1.3
	実績値			実施無	+2.0	+0.2			
学習用PCの導入率	目標値	人/台	6.2	1	1	1	1	1	1
	実績値			1	1	1			
電子黒板の導入率（普通教室・理科室）	目標値	%	100	100	100	100	100	100	100
	実績値			100	100	100			
電子黒板の導入率（特別支援教室）	目標値	%	71.4	78.6	85.8	92.9	100	100	100
	実績値			73	75.4	98.3			
ICT支援員の配置	目標値	回/月	4（ICTモデル校）	3（全小中学校）	3（全小中学校）	3（全小中学校）	4（全小中学校）	4（全小中学校）	4（全小中学校）
	実績値			2.6（全小中学校）	3（全小中学校）	3（全小中学校）			
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、学校・家庭・地域と連携して、人間性豊かな子どもを育成する。 行政は、学力向上を図るための教育環境の整備を推進する。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

とちぎっ子学習状況調査の結果、小学４年生・５年生は、全ての教科で県の平均正答率を上回っている。また、中学2年生は、国語、理科、英語は県の平均正答率を上回り、他の2教科はやや下回ったが、全体平均でみると県平均を上回っており、これまでの取組の成果が見られる。

ICT機器の整備についての取り組み状況は以下のとおり。
・小学校2年生以上で端末の常時持ち帰りを開始し、家庭学習と連携することでさらなる端末活用の推進を図った。
・電子黒板については、普通教室・理科室について全教室に配備を完了。
・ICT支援員の配置については、全校に年間36回（月平均3回）の支援を実施した。
・ICT教育重点校として、小学校4校・中学校2校を指定し、公開授業および授業研究会を実施した。
・学習eポータルを導入し、文部科学省CBTシステム(MEXCBT：メクビット)を各校で利用できるよう整備した。

学力向上に向けた令和4度の取組状況は以下のとおり
・児童生徒1人1人の個性を伸ばし、学習効果を高めるため、複数担任制のための非常勤職員を小・中学校全校に配置している。
・真岡市学力向上推進研修会や教員研修会を開催し、各学校の検証改善サイクルの構築と教職員の資質・能力の向上を図った。
・「教職2～4年目教員支援事業」「学力向上指導員派遣事業」「魅力ある学校づくり」等での学校訪問を通して、授業改善に対する助言を個別に行った。
・真岡市総合学力調査の結果と連携したAIドリルを活用し、1人1台端末を活用した児童生徒1人1人に合わせた学習を推進した。
・英語の専科教員を小学校5校、算数等の専科教員を小学校3校に配置している。
・理科担当教員の資質向上と小学校の理科専科教員の育成を図るため、指導主事及び理科学習指導アドバイザーを学校に派遣して「理科担当者研修事業」を実施した。
・4月に行った「理科学習に関するアンケート」より、教員が指導する上で苦手意識のある実験・観察を絞り込み、その実験・観察に対し、安全かつ適切な技能指導ができるよう、年7回の「理科実技研修会」を企画し、実施した。
・授業において電子黒板やタブレットで利用しやすいよう、観察・実験に関する資料や動画等をクラウド上に掲載した。
・利用希望のあった学校に対し、プラネタリウムを用いて、教科書の内容に沿った天体に関する学習プログラムを行った。
・学校図書館の充実と児童の読書活動の推進を図るため、全ての小中学校に6名の専任司書を巡回配置し、読書教育の質的な向上に取り組んだ。
・全教職員対象のアンケートにより抽出された教育課題への具体的な施策について検討し、若手教職員をサポートするための校内での取組やアイデアをまとめた事例集を作成し、全校へ配布した。

今後は、
・ベテラン教員の比率が今後低下し、若手の割合が高くなる予測を踏まえ、若手教職員の人材育成を図る。
・1人1台端末をはじめとしたICT機器の活用を推進し、さらなる授業改善、家庭学習との連携を図る。
・教職員の働き方改革を進め、教員が子どもたちと向き合う時間を確保するためのさらなる取組を行う。
等の課題について検討し、児童生徒のさらなる学力向上を図っていく。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

令和5年度の全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子学習状況調査、真岡市総合学力調査の結果について調査分析し、その結果のフォローアップを重視することで、確かな学力の定着を図り、学力の向上を目指していく。また、学力向上推進研修会や指導主事の学校訪問による授業支援等を行い、教職員の指導力向上を図るとともに、複数担任制のための非常勤職員を配置し、個別指導の充実に取り組むことで、児童生徒の学力向上を図る。

またこれまで同様に、各学校の実態に合わせた可能な教科担任制の導入を推進しつつ、どの学校においても一定の教科担任制が実施できるよう、国及び県に対して教職員の定数の改善を要望する。

引き続きICT教育推進校とICT教育重点校を指定し、1人1台端末の効果的な活用方法を研究すると同時に、ICT活用に関する教員のスキル向上を図る。さらに、ICT活用に関する教員研修の実施、ICT支援員との連携の強化を図る。

引き続き「理科担当者研修事業」ならびに「理科実技研修会」を実施し、理科担当教員の資質向上と小学校の理科専科教員の育成を図る。

全教職員対象のアンケートにより抽出された教育課題を解決するための取り組みを継続し、各学校へ進捗状況をフィードバックする
。

教職員の校務支援システム等の活用により、教職員の業務効率化を図り、教員が子どもと向き合う時間を確保し、教育の質的向上を図る。また、勤怠管理システムの導入等、さらなる教職員の働き方改革推進に向けた施策について検討する。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1	総重	真岡市総合学力調査事業	学校教育課教育政策係	児童受験者数（延べ人数）	人	3361	事業のやり方改善
				生徒受験者数（延べ人数）	人	2066	事業のやり方改善
				小学生真岡市総合学力調査(11月)における3教科合計平均正答率の全国との差	ポイント	+1.6	事業のやり方改善
				中学生真岡市総合学力調査(11月)における5教科合計平均正答率の全国との差	ポイント	+1.8	事業のやり方改善
2	総重	学力向上推進事業	学校教育課指導係	研修会後アンケート高評価の割合	%	99.4	現状維持
				小5とちぎっ子学習状況調査3教科合計平均正答率の県との差	ポイント	1.6	現状維持
				中2とちぎっ子学習状況調査５教科合計平均正答率の県との差	ポイント	0.2	現状維持
3	総重/戦拡	ICTを活用した学校教育の推進事業	学校教育課教育政策係	PC1台当たりの児童数	人	1.16	現状維持
				学力状況調査　県との差（小５）	ポイント	1.6	現状維持
				学力状況調査　県との差（中２）	ポイント	0.2	現状維持
4		複数担任制のための非常勤職員配置事業	学校教育課総務係	学習支援を受けた児童	人	4229	現状維持
				学習支援を受けた生徒	人	2247	現状維持
5		学校図書館専任司書配置事業	学校教育課総務係	学校図書館の充実が図られた学校数	校	23	現状維持
				貸出冊数	冊	136,970	現状維持
				利用者数	人	174,147	現状維持
6		マイチャレンジ推進事業	学校教育課指導係	体験活動により共に生きる力や感謝の心が育まれた中学２年生の数	人	724	現状維持
7		コミュニティスクール推進事業	学校教育課教育政策係	学校運営協議会を設置した学校の数	校	1	予算増大
				学校運営協議会開催回数	回	4	予算増大
8		学校施設管理事業	学校教育課施設係	小学校修繕件数	件	176	予算増大
				中学校修繕件数	件	141	予算増大
9		理科担当者研修事業	科学教育センター科学教育センター	研修により自信をもって授業に臨めた教員の割合	%	94.7	事業のやり方改善
				研修により観察・実験の指導力向上を実感した教員の割合	%	100	事業のやり方改善
				真岡市総合学力調査における全国平均との差（小４→小５）	ポイント	+2.7	事業のやり方改善
				真岡市総合学力調査における全国平均との差（小５→小６）	ポイント	-2.2	事業のやり方改善
				研修により、児童・生徒の学力が向上したと実感した教員の割合	%	ー	事業のやり方改善